

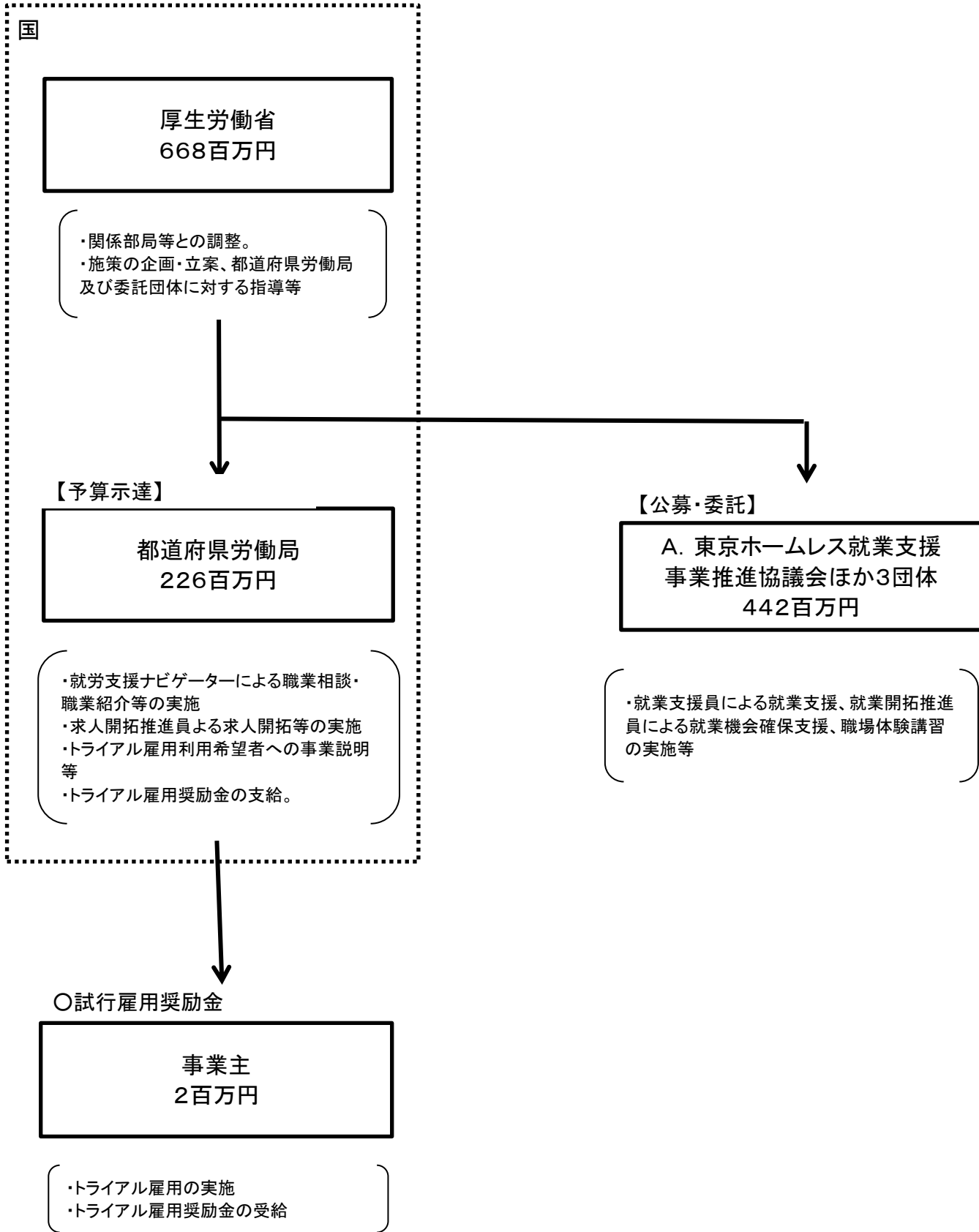
平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ホームレス等に対する就労支援事業		担当部局庁	職業安定局派遣・有期労働対策部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度～		担当課室	企画課就労支援室		就労支援室長	
会計区分	一般会計 労働保険特別会計(雇用勘定)		施策名	(Ⅱ-1-3)高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ホームレスやホームレスとなることを余儀なくされるおそれのある者(住居喪失不安定就労者)に対して、個々の就業ニーズや職業能力に応じた対策を講じ、対象者の就業機会の確保及び雇用の安定化を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ホームレスや住居喪失不安定就労者の就労・職場定着を図るため、ホームレス自立支援センター等へ出張して職業相談・職業紹介を行い、事業主等に対する職場定着指導を行うとともに、求人開拓推進員を配置して求人開拓・求人情報等の収集、社会的偏見をなくすための事業主に対する啓発活動等を行う。 また、ホームレス等の就労を円滑に推進するため、地方自治体やNPO等のノウハウを活用した都市雑業等の就業支援やホームレス自立支援センター等に入所しているホームレスを試行雇用した事業主に対する奨励金の支給を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	606	643	685	718	688
		補正予算					
		繰越し等					
	計	606	643	685	718	688	
	執行額	535	569	668			
	執行率(%)	88.3	88.5	97.5			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	自立支援センターにおける求職者常用就職率	成果実績	%	54.5	46.8	49.6	50
		達成度	%	77.9	69	78.4	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	自立支援センターにおける求職者に対する職業相談件数	活動実績(当初見込み)	人	22,894	29,493	27,849	—
						(24,302)	(23,170)
単位当たりコスト	80,307(円/件)		算出根拠	平成22年度就労支援ナビゲーター関係執行額(200,206千円)を平成22年度常用就職件数(2,493件)で除して得た額。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金【一般】	109	106	職場体験講習の受講見込者数の減。			
	諸謝金【雇用】	109	106				
	旅費【一般】	3	3				
	旅費【雇用】	3	3				
	庁費【一般】	18	19				
	庁費【雇用】	26	19				
	給付金【一般】	10	9				
	委託費【一般】	440	423				
計	718	688					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	ホームレス概数は平成21年15,759人、平成22年13,124人、平成23年10,890人と、国と自治体のホームレス対策の奏功等もあり、減少傾向にあるが、未だ多数のホームレス等が存在していることから、今後ともホームレス等の自立、安定雇用の促進を図っていくものとする。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	ホームレス等に対する就労支援事業は、執行状況を予算要求に反映すること。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
過去の実績等を踏まえ、職場体験講習の受講見込者数等を見直した。(反映額:▲31百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



A.東京ホームレス就業支援事業推進協議会等			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	就業支援等に必要経費	144			
消費税	消費税	7.5			
管理費	事業に必要な管理経費等	4.7			
管理費	事業に必要な管理経費等	2.4			
計		159	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A. 東京ホームレス就業支援事業推進協議会等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京ホームレス就業支援事業推進協議会	ホームレス及びホームレスとなることを余儀なくされるおそれのある者に対し個別のきめ細かい職業相談等を行う	159	1	100
2	大阪ホームレス就業支援センター運営協議会	ホームレス及びホームレスとなることを余儀なくされるおそれのある者に対し個別のきめ細かい職業相談等を行う	71	1	100
3	神奈川県ホームレス就業支援協議会	ホームレス及びホームレスとなることを余儀なくされるおそれのある者に対し個別のきめ細かい職業相談等を行う	57	1	100
4	愛知ホームレス就業支援事業推進協議会	ホームレス及びホームレスとなることを余儀なくされるおそれのある者に対し個別のきめ細かい職業相談等を行う	155	1	100
5					
6					
7					
8					
9					
10					